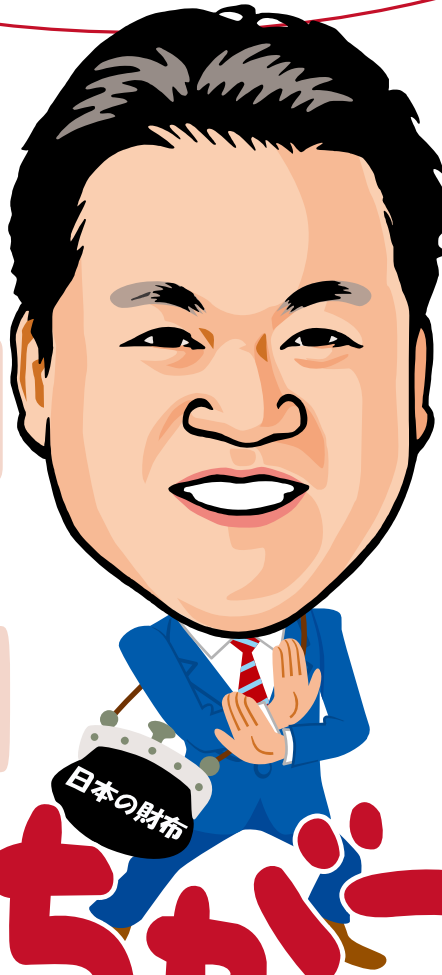


おだち源幸



生活はよくなりません。
本当に家計を温めてくれる
真の経済政策を
「おだち」はおし進めて
いきますー!



年始から株価下落が続ぎ、『アベノミクス』の正体』が見え始めてきました。株価を操作しても、

おだちがつくる

今月の主張

ここが変だよニッポン!

株価と物価を上げることが国民の生活より優先?

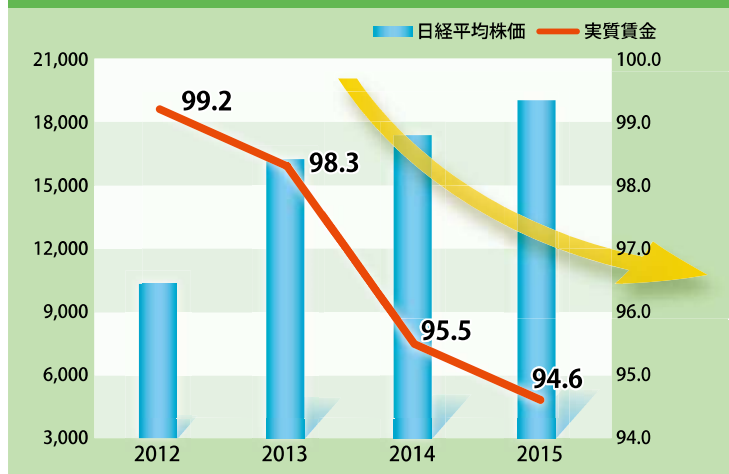
1月29日、日銀の黒田総裁は“国民が効果を理解しなくてもよい”という旨の発言をし、史上初のマイナス金利政策を導入しました。アベノミクスの頼みの綱である株価が、年明け以降下落していたことに危機感を抱き、株価さえ上げればアベノミクスの失敗をごまかせると考えたのでしょう。日銀の基準では物価は上がっていませんが、円安による物価高もあり、普通に買い物をする私たちの基準では既に物価は上がっています。例えば、近畿では平成25年に99.9であった物価指数が27年には103.2と上がっています。

それに引き換え、実質賃金(月給から物価の影響を引いたもの)は、民主党政権時代より5ポイント以上も下がっています。

これは「モノの値上がり」に、月給が追いつかないことを意味しており、これでは買い物をしたくてもできず、景気も暮らしも良くなるはずがありません。一方で、企業はこの3年間で利益の内部留保金(利益剰余金)を約70兆円増やしています。

本当に株価や物価だけを引き上げることが私たちの暮らしを良くするのかどうか、今こそしっかりと考えなければなりません。

株価上昇に対して実質賃金は下がり続けている



※大阪府HPと厚生労働省HP、総務省統計局HPよりおだち事務所が作成

私は、「悪い物価上昇をおさえ、家計が使えるお金を増やす」ことを経済政策の柱としています。

例えば、企業が内部留保金を「月給」として働く人びとにきちんと還元すれば、「家計が使えるお金を増やす」ことができます。

最新刊

2/5全国書店発売!



今月の 軽減税率って・・・

軽減税率制度の導入による世帯収入別の年間の消費税負担軽減額

1兆円の軽減額は誰に渡るか？ (財務省の試算では・・・)

・年収1,000万円以上の家庭には



金持ち優遇？

・年収300万円未満の家庭には



低所得者の生活支援？

こんな無責任な消費税の
引き上げは凍結する！

考え

軽減税率は、まさに金持ち優遇で許せません。
また、対象品目の線引きも困難です。



①

例えば、外食は標準税率(10%)ですが、出前は軽減税率(8%)です。

1皿100円の回転寿司は「外食」なので10%ですが、「特上寿司(3500円)」を「出前」したら8%など、納得できますか？絶対におかしい！

低所得の方にのみ負担減となる、消費税の払い戻し(給付付き税額控除)を導入すべきです!!

おだちの生い立ち

先月号に続き、おだちは税制に対する疑問や、日本の未来への強い想いから政治の世界へ踏み出しました。

税理士・公認会計士として事務所経営を行いながら、元総理の秘書として、1年半無報酬で勉強させていただきました。当時は、朝から夕方までは政治の勉強、そして夜通し自身の会計事務所の仕事とハードな毎日だったそうです。それでも全く苦にならず、むしろ毎日が新鮮な気持ちで溢れていたそうです。そして、縁の深い堺市17区において、2000年6月第42回衆議院議員総選挙に挑みました。



事務所開き神事



当時毎日手伝いに来てくれていた学生ボランティアと
*おだちの左に写るのは当時19歳の金子秘書

候補者が6人も乱立する激しい選挙戦でした。結果が伴わず、ご支援くださった皆様に申し訳ない想いで一杯でした。この時に感じた選挙の厳しさ、政治の難しさがおだちを更に奮い立たせることになっていきます。

つづく...

事務所スタッフの ((生声))

アチャッ



大阪
スタッフ

平和と人権を守る立憲主義!

「おだち源幸議員は、バランス感覚に優れた温厚な人柄なので、議席を失わず訳にはいかない。」有り難い支持者の皆さんの激励です。しかし、今回の選挙は、人柄や政党ではなく「立憲」か「非立憲」の選択が迫られる選挙といわれ、選挙結果はこの国の方向性を左右します。逆風下でも、平和と人権を守る「立憲」のスタンスで戦いに挑む“おだち議員”とともに歩んだ17年、最後のご奉公ができる喜びをエンジン全開で尽くします。



顧問
H・Hさん

エンジン全開!



秘書
M・Oさん

年が明けて一か月、事務所内はだんだんと慌ただしさが増す気配です。私事ですが、昨年6月から週1回ジムに通っています。そのおかげか体力もつき、昨年は風邪で倒れることのない一年となりました。今年にはさらに体力の必要な年になりそうです。しっかりと体をつくり、今年一年をおだち議員とともに全力で乗り切りたいと思います。